

自然災害への防災意識を高める

第50回 平塚市防災講演会

参加
無料

2018年は大きな自然災害が多く、全国各地で甚大な被害に見舞われました。大阪北部地震（6月・震度6）や西日本を中心とした集中豪雨（6月末から7月上旬）、北海道胆振東部地震（9月・震度7）に加え、台風も20号（8月）、21号（9月）と非常に大型で強い勢力の台風が立て続けに上陸しました。こうした状況の中、平塚市では神奈川新聞社と共催で、自然災害に対する防災意識の向上や防災に関心をもってもらおうと、講演会を開催いたします。ふるってご参加ください。

2019年**1月19日（土）** 13:30～16:00（13:00開場）

平塚市中央公民館大ホール（平塚市追分1-20）

定員：**650人**（申込不要・先着順）

※駐車場に限りがあります。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

第1部講演

「主役はわたしたち 明るく楽しい避難所づくり」

プロフィール

1992年地域づくりボランティア団「益城まちおこし塾」を結成後、97年の阪神淡路大震災を教訓に「防災ボランティア益城」を結成。ボランティアやイベントの開催など、地域に根ざした活動を多数展開。2016年4月に発生した熊本地震の際には、指定避難所である益城町立益城中央小学校の体育館に4ヶ月間避難した。「主役はわたしたち～明るく楽しい避難所 さまざまに～」をモットーに行政やボランティアに頼るだけでなく「できる人が、できることを、できたしこ（できた分）」を合言葉に避難所を自主運営に切り替え、そこで培ったコミュニティを仮設住宅につないだ。現在は仮設住宅から災害公営住宅へコミュニティをつなぐために活動している。



講師：吉村 静代さん
益城だいすきプロジェクト
「さまざまに」代表理事

第2部講演

「記者の目から見た防災」

プロフィール

神奈川新聞報道部記者。1996年入社、報道部県警担当、三浦支局、小田原支局などを経て、東日本大震災後の2011年7月に開始した防災のページ「減災新聞」を担当。2004年の新潟県中越地震、07年の新潟県中越沖地震、東日本大震災などの被災地取材している。



講師：渡辺 渉 記者
神奈川新聞社統合編集局

お知らせ

防災標語表彰式 平成30年10月19日から11月14日に防災標語の募集をいたしました。選ばれた方に表彰状をお渡します。

手話・要約筆記

今回の講演会は聴覚に障害をお持ちの方にも分かりやすいように、手話通訳と要約筆記通訳がつけます。